

葵

ちやんが一番



JIBAKU-SYSTEM

B.A.B.E.L

The strongest children in the world.

Though it gets him, they don't choose a means.

18禁



葵

ちゃんが一番



みるがき

かつてないほどの攻勢にさらされ陥落寸面の
山口防衛線状態な涼樹天晴（すずきあまはる）です。

5121助けて〜っ！！

この本がコミケに間に合ったのは印刷所のトム出版様の中
の人の根性と気力のおかげです。(=ω=)

十二月に入ってからの新型インフルエンザに感染して
なんかやで五日間程度無駄にしたのが痛かった
これも要因なんだけど一番の原因はもっとはやく
原稿やれば良かっただけなのがなんとも(=ω=)
本当に今回は、かつてないほど時間的にやばかったです。
入稿したのも最終締切り一時間前でした

なにせよ無事に葵ちゃん本が出せて良かったです。
まあ本当は夏に出す予定だったから遅れまくりなのですが

あ〜もう、やはり葵が一番自分的にいいな〜
可愛いのに描きやすいし(=ω=)
ただ本編の出番が少ないのが、なんともせつない(つまら)。
とま〜こんな感じです。



皆本はん…

うちのこは
準備できてるぞ…

葵!

んんんんん

女
老
毛

おかん

あは



ん…

ふあ

ぐちゃ

びび

あ

ひあ

びび

皆本…は…ん

もっど…

ゆっく…り…激し…

す…ぎ…

ひい

びび

びび

壊れ…る

あう

びび

びび



すまん葵それ無理
こんな最高の感触を
ゆっくりり味わうなんて
出来ない!



くっく...
もっく...出る

ああっくら
葵、駄目
外に...
出さない

必殺
蟹バサミ

ガッ



あは
もっく

出てるー!

ドクドク
クク
クク

うちの子宮に...

皆本はんの精子が...
入ってきてる!



クク

クク

クク

クク

ふんふん

ちゅぽん

ひゃん

ぽりっ

葵：

皆本はんうち今日
安全日だから中出し
しても妊娠しないから
大丈夫なんやで

ほんま皆本はんは
性行為関係は
お子様やな！

ぽ

大嘘

そっなの？

そっやでー

ぽ

ぽぽ

だからな

今日は遠慮なく全部
中出ししてもえーんやで
嬉しいやろ

皆本はん
たくさん出したな！

たまってるのとちやう？
まあこんな美少女中学生が
相手ならわかるけどな

うちは最高やろ？

う…ああ…

とても気持ち
よかった



ふふん
なんや今日は素直やな！

いつもは照れてなかなか
答えてくれへんのに

素直になるくらい
うちを犯したいん？

刺
刺
刺



皆本はん…そないに
ペニスを起立させて…

うちのここに…
そんなに突っ込みたいんか

くはあ

ぐんぐん



かまへんよ

なんせうちの穴は全部…
上も下も後ろも皆本はん専用やで

葵…

カマン

葵…!

きやー

式回戦目終了の囃

はー

きゅう...

はー

く

ゴボゴボ

あ

くし

ええんよ

それだけうちに
メロメロって
ことやろ?



眼鏡でポニテで
裸エプロンだと...



あんな皆本はん...
もじ

ぴんぷん

ズキ
ズキ

これ以上したらうちの
ここ壊れてまうねん...



はい
ローション



じゃーん

現役女子中学生の
裸エプロンやで

ふおお

ムッキン

バッチ
こーいー!

アナルでしたる

ムキ

はち

ん

あ・お・いー

お前は最高の中学生だ!

あひい

あひい
あひい
あひい



はう

ああ出てるお腹の奥まで皆本はんの精子がきてる!

だから...

もっと... ゆっ...く...ら

葵ー!

あーっ





雑文となかがき

はい、やまなしおちなしのやおい本です。

最初は「MINAMOTO」の続きで中学生編に入ろうかなーと思って
ネームを途中までやったのですが最初の「AOI」とかぶる部分が多くて(;´Д`)
進めていたのですがなんかうまくいきませんでした。

でも野上葵ちゃんのエロシーンだけ描きたくてこうなりました。

自分的に皆本×葵が一番すわりが良い感じですね。

キャラ的にも一番好きなので、作業的には楽しかったのですが
作成に入ったのが12月にはいってからと遅くなったのが痛かった><

自業自得なんだけどねー…やり残した事がたくさん…

なのでもう一冊くらい葵本作るかも(=ω=)

それにしても何気にアナルセックスもの多いね^(*∇*)

「あ、葵……な、なんて格好してるんだ？」

「お帰り、皆本はん、えへへ～どうや？
なかなかええ感じやん？」

「いや、そ、それよりも……
何で葵そんな格好してるんだ？」

「ん～？ なんとなく？」

「なんとなくでそんな格好するな！
今すぐ着替えろ！」

「え～ええやん、別に……って、んー
もしかしてウチに興奮してるとか？」

「ぼっ！ バカ！ そんなわけあるか！」

「でも、皆本はんウチのことじっくり見てない？
陰部が浮かび上がっている。

「そっ、そんなわけないだろ……」
そう言いつつも目を逸らさない。

ぶに

「ほんまに？ほんまに？」
クスクスと笑いながら

お尻を見せてつきだして見せる。
淫らに食い込んだ陰部。

「ほらほら、どない？色っぽくない？」

「あっ、ああ…じゃなくて！
そう言うことは辞めろ！」

「え～せっかく着たのに？
光一はんこそ
むらむらしてへん？」

「あっ、あのな…」
甘い言葉と
小悪魔的な動きで誘う。

「ほら、今やったら
レオタード着た美少女と
H出来るねんで？」

「ええやん、あの二人もおらへんし
今日は思い切りできるんやで？」

「そ、そう言っても…」

「ウチの前にも後にも、好きなだけ
はめられるって言うのになあ…」

「……………」

「み、皆本はん…
なんか、目が据わってて
顔が怖いんやけど…」

「あ、葵…葵～！」
臨界点を迎えた皆本

「きゃああ！」



「あうう！光—はん！あ！あ！あ！奥まできて…る！」

「んっんくっ！ ああっふっふと…あいかわらず…お、おっき…」

「ウチのあそこが広がって…あっ！ あああ！」

「んっ！ こ、こすれてる！
うちのおそこ！ あああ！ あつい！ すご！」

「こ、コラ、乳首かむな！ もう少しやさしゅう……あっんっ！」

「んっくっ！ いい、葵のおそこはきついな……」
そう言って、腰を振った。
ずんずんと淫らな音が響く——

「そ…そうか？ き、気持ちええか？」

「ああっ、いいよ。熱くて、締め付けも……一番良い」
互いの言葉が広がった——

ゴホ

「ああっ、はっ! はああ!
んくっ! も、もうで……でる」

「みっ、皆本はん、出るって中に?」

びくびく

「とっ! とまらない! いいくぞ?」

「あっ、はっ! いいっ!
当たって、奥に当たって……
くっ! ええよ、だして! 中に、中にいい!!」

「んっ! くふうう……」

びん

びん

ム

「はあ、はあ、はあ……な、中に出てる……」

うちの中に皆本はんの精子が……

んっ、相変わらず粘り着いて、濃いわあ……」

「ほら、ウチのあそこ見て？」

「粘り着いてるのが見えるやろ？」
そう言って、陰部を広げてみせる。

白濁とした精液がドロリと
へばりつくようにして陰部から滴る。

「ほら、まだ、ウチは大丈夫やで…
光一はんの精子ドロドロしてるわ」

葵は誘うように自らの股を開いた。

「あっ、また元気になってきてるな
もう一回、する？」

「ウチは、ええよ……」

「……」

出したばかりだということにいきり立つ怒張。
ピンピンと空を突くように上向きになっている。

「ほら、なあ？」
皆本はんのあそこもまたぐんぐん大きくなってる」

んんんんん

「えっ? なに、今度はお尻でって…
光一はんは、ほんまにアナルが好きやな?」

「う…嫌かな…」

くぱあ

「嫌やないけどな、そっちやと
妊娠の心配がないからやの?」

「さんざんうちの子宮に
精子出しといて今更やで?」

「そういう訳では…」

「まあ、ウチはええよ
そのかわり、今日はウチだけを見て…ウチだけを可愛がってな…」

葵の言葉に従って身を乗り出す。
そして、ゆっくりと菊座に指を当てこすった。

「あっ! んっ! ふうう……」
甘い吐息が広がってゆく。
眼前にある菊の花、そっと舌を当てる。

「んっ、あっ、お、お尻舐められてる……」

「ふっ! ふあ! んんうっ! くっ!」
ピチャピチャと淫らな音が広がると同時に葵は身をくねらせた。

「はあ、お、お尻の穴……熱い……んっ、ふうっ」ひぐひぐとまるで生物のように蠢く穴。
びたりとあてがう——

「あっ! くっ! くううう……、こ、も、もう少しゆっくり、くっ!」
グイグイと押し当てられ、ねじ込まれてゆく。

「あっ! くううううっ!」
苦しそうに唇を噛みしめ、堪える。

「ふあっ! ひ、ひろがる!」

「キツイか?」

「だ、だいじょうぶ……ああっ! はああ!」むき出しの陰部。スジと広がった淫花——

「はっ! はぐ! か、硬くて……はああ! ああっ! あああああっ!」葵の声が、こだました。

「ね、ねじこんでる……いいっ! くふうう! う、うちのおしり! うちのお尻の穴が広がって……」

「あっ! くふうっ! す、すごい…。根本から締め付けられる」

「ええよ! はっ! はああ! もっと、もっとウチのお尻突いて! おしり! お尻の穴ああ!」
皆本の腰が前後するたびに、拡張され、まるで吸盤のように吸い付いて、離そうとしない。

「あっ! ぐっ! くふう! ああつ、いいっ! いい! お尻…」抜けそうになる一瞬、外側に引っ張られる。腰のペースが速まった。

「お! お尻が熱い! うち! ウチもうだめえ!」捜査権だと気だ、葵の肛門が収縮して――

「あっ! ぐっ! くふうう!!」

「ぐっ! で、でる! 出すぞ!!」

「はあっ! はああ! ええよ! 出して出してええ!!」
どくっ! どくうう!
葵の言葉に従うように放出される精子。

「はあ、あ、ウチのお尻の中でどくどく言うてる…」 「はあはあはあはあ……」

「あっ、ウチのお尻の穴から、光一はんの精子がたれてきてる…」
ぐったりとする皆本――「連続するのはきつかったん?」
「あ、いや……」葵の言葉に正気に戻る皆本――

「レオタードぐしょぐしょやな…」 「あっ、うん」

「今度は、汚さんようにしてや?」 「うん…」
少し自己嫌悪気味に頷く皆本を見て、葵は笑いながら――

「あと、レオタードの代金ちゃんと払ってや?」

なんかのゲスト原稿線画 (=ω)/

葵ちゃんが一番

THE STRONGEST CHILDREN IN THE WORLD.
B.A.B.E.L

Though it gets him, they don't choose a means.

● JIBAKU-SYSTEM

2009年12月31日初版発行

2010年01月23日二版発行

発行 自爆SYSTEM (涼樹天晴)

HP : <http://hwbb.gyao.ne.jp/kimidori-pb/>

メール : kimidori@pb.highway.ne.jp

印刷所 トム出版 様

18歳以下の未成年への販売を禁止

無断転載・複写を禁止

あとがき

ここまで読んでくださりありがとうございます。

んがっちょっちょ的な末期状態です。

とりあえず2010年もネリネリとまったりやっています。

次こそ時間的余裕持って作りたいといつも思っていますが

時間的に追い詰められたほうが進むんですよね…

いや、今度こそ余裕を持って挑みますよ～

次はいまさらだけどアスカ様本かな。

それではまた次の本で～

